
とある少年の憂鬱

アザゼル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある少年の憂鬱

【著者名】

アザゼル

N6359E

【あらすじ】

とある学校のとある生徒の休み時間に起きたちよつと不思議な恋愛のお話です

(前書き)

少しB-Lが入っています
少しなので大丈夫だと思つのですが苦手な方は戻ることをおすすめ
します

「いじめとある高校のとある休み時間の話だ。
つまらないかも知れないがしばらく聞いてほしい
ところよつ出来れば俺を助けてほしい

俺は休み時間を教室で過ごすのがバカらじこと思い、こいつものうつ
にあいつと共に廊下に出た。

別に廊下に出たからといって何が変わるわけではないのだけどな……

「付き合つてもられない?」

と窓から景色を眺めていた俺にあいつは唐突にそつ躊躇り掛けた

「ん? 何飯買い忘れたのか? ?
だつたらあとで食堂で……ん? ? どうかしたか? ?」

なぜか悲しそうな顔をするあいつ……俺、なにかしたかな……

「やつぱつ……そうだよね……」

今にも泣き出しそうな顔…

「どうした？？」

俺、何か悪いことしたか？？」

「いや、別に何でもないから……」

と笑顔でいうあいつだが俺は知ってる
これは泣くことや嘘を誤魔化してる時の笑顔だ。

「嘘はやめろよ

何に付き合つてほしかったんだ？？
お前の相談ならいつでも乗るからわ
言つてみろよ」

俺は強引に肩を掴み顔を覗き込みながら聞いてみた

「…………恋人として付き合つてほしかったんだよ」

頬を赤く染めながら言つあいつなのだが…

…………えつ…今、なんて？？

「…………だつてお前、男だろ？」

そう残念ながら頬を赤らめて上田遣こで叫んでくれていいの相手は男だ……

「良く考え直せよ俺も男だしお前も男だぞ」

「そう気付いてくれ……てか頼む、気付けて

「僕は全然構わないよ……むしろ君のためだつたら……」

更に顔を真っ赤にしながらボソボソと呟くあいつダメだゾンダソン断りづらくなつてゐる気が……

「やつぱりダメかな??」

とつるつると潤んだ瞳に上田遣いのあいつ……か…可愛い

「あの……その……いやではないんだが……でも……俺は……」

いつの間にか汗がだらだらと頬を流れていた
ヤバい泥沼だ

……それはお前、いくら身長150台で髪が綺麗で長くて、顔も男なのにこの学校の中で1、2位を争うぐらい可愛いし、実は俺のタイプだつたりするし……つて何言つてるんだよ俺は相手は男だぞ お・と・こ

そうだ、残念ながら俺にはそんな特殊な趣味なんかは持ち合わせて

ない……はずだ

「それで……出来れば……答えを教えてほしいんだけど……」

「あっ……あ～……そ……そつだよな……」

とまあひとつもない状況に置かれている俺

周りから

「キヤー」とか

「禁断の愛よ」とか好き勝手言いながら頬を赤べくれる女子やうきう
んと向故か納得する男子……

はあ～、どうすれば良いんだ俺は……

だれかこの問題に的確なアドレスをください

お願いします……

(後書き)

友達と「B-L-fftでどんなのだらうな~」とか話して書いてみた作品です…

えつ全然B-L-じゃないつて??

残念ながら私はB-L-知りません…すいません

では今回はこの辺で次回の作品でお会いしましょう

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6359e/>

とある少年の憂鬱

2010年10月10日22時55分発行